証券コード 4028

株主通信

第93期 事業報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

目次

社長メッセージ …… 1

主要なセグメント概況 …… 3

当社財務状況の概要 …… 5

トピックス・会社概要 …… 6

株式情報 …… 7

ISK 石原産業株式会社

代表取締役社長 田中 健一

石原産業グループ基本理念

- 「社会」、「生命」、「環境」に貢献する。
- 株主、顧客・取引先、地域社会、従業員を大切にする。
- 遵法精神を重んじ、透明な経営を行う。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

ここに当社の第93期の株主通信をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようよろしくお願い申しあげます。

平成28年6月

Q 第93期（平成28年３月期）の経営環境について聞かせて下さい。

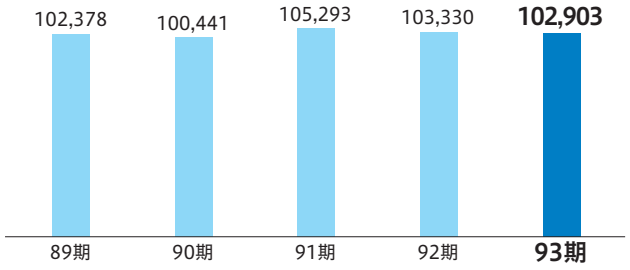
A 当期の世界経済は、米国では雇用の改善や個人消費の拡大を背景に比較的堅調に推移しましたが、欧州圏では緩やかな回復に止まりました。一方、中国では経済成長の減速による不安定な状況が続き、また東南アジアやインド、ブラジルなど新興諸国でも資源価格の下落やドル高などの影響により、景況感が悪化しました。日本経済は、企業業績や雇用環境に改善が見られたものの、個人消費は依然弱含みで推移し、景気回復には力強さの欠ける展開となりました。

Q セグメント別の状況と当期の業績について聞かせて下さい。

A 当社グループでは、酸化チタンや農薬など主力製品の世界需要が減少に転じる厳しい市場環境に直面いたしました。酸化チタンでは、国内需要が伸び悩んだほか、海外では世界的な需給環境悪化により市況は一段と下落し、売上高は前期を下回りました。機能材料では、電子部品向け販売は増加しましたが、前期販売開始の新製品の販売が減少したため、売上高は前期を下回りました。農薬では、国内販売は概ね前期並みとなり、海外では

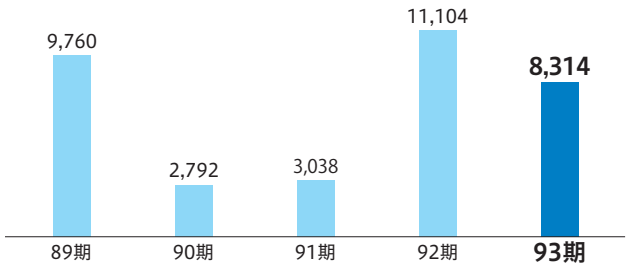
売上高の推移（連結）

（百万円）



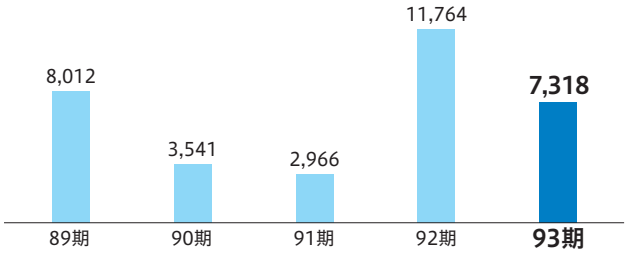
営業利益の推移（連結）

（百万円）



経常利益の推移（連結）

（百万円）



ブラジル向け販売の減少はありましたが、欧州・北米・アジア向けの販売増でこれを補い、売上高は前期を上回りました。

この結果、当期の売上高は前期比４億円減の1,029億円、営業利益は前期比27億円減の83億円、経常利益は前期の為替差益が為替差損に転じるなどで前期比44億円減の73億円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は事業活動停止により不要となった海外連結子会社の事業用土地借地権の譲渡益などを特別利益に計上したことなどから前期比24億円増の94億円となりました。

Q 次期（平成29年３月期）の見通しはどのようになっていますか？

A 酸化チタンでは、国内市場の拡大は引き続き期待できないものの、営業努力により若干の販売増を見込んでおりますが、海外では市況回復に今しばらく時間がかかると想定しており、為替円高もあって減収となる見通しです。機能材料では、電子部品用途向けは引き続き堅調に推移するものの、全体では減収が見込まれます。農薬では、国内向けは新製品投入効果で増収を見込んでおりますが、海外販売は、アジア向けの販売増が期待できるものの、円高の影響で全体では減収となる見通しです。

次期の連結業績見通しにつきましては、売上高が990億円、営業利益は35億円、経常利益は17億円、親会社株主に帰属する当期純利益は８億円を見込んでおります。

Q 今後の取り組みについて聞かせて下さい。

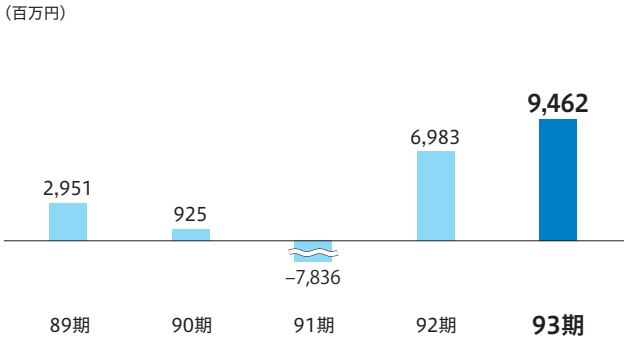
A まず無機化学事業についてですが、酸化チタンの海外販売では、付加価値の高い超耐候性銘柄などの製品を積極的に販売するとともに、インキ用銘柄を国内外に拡販するなど、売上・利益率の向上を図ってまいります。機能材料では、スマートフォンの高機能化などにより需要が伸びている電子材料や導電材料などの分野に注力し、収益性を確保いたします。また、製造コストの引き下げについては引き続き取組んでまいります。電池材料では、大気汚染が深刻な中国で、普及が進む電気バスに適した材料の本格的な販売を予定しております。また、将来の柱となる新製品の創出力を高めるため、無機と有機の事業領域に捉われず、新規商品の開発を推進してまいります。

次に有機化学事業についてですが、農薬については、近年力を入れる北米、東南アジア、インドなどでの事業展開の強化に引き続き取組んでまいります。また、新規剤・新規混合剤を安定的に市場に投入し、製品ラインナップを強化するほか、適用対象作物の範囲を拡げ、販売の拡大につなげてまいります。製造面では、新規剤の上市のタイミングに合わせた生産体制づくりを進めるとともに、既存剤の原体の製造・調達を、インドや中国など安価な海外で進め、最適な生産体制を追求してまいります。

農薬以外では、動物薬は、国内の承認申請をすでに終えており、早期の国内上市を目指すほか、順次海外へ展開してまいります。ライフサイエンス分野では、大阪大学と共同開発中のＨＶＪ－Ｅ抗がん剤は、メラノーマや中皮腫、前立腺がんを対象に国内で臨床試験中であります。また、人工関節固定用骨セメントは本年３月に国内承認申請済みであり、すみやかに国内での上市を目指しております。

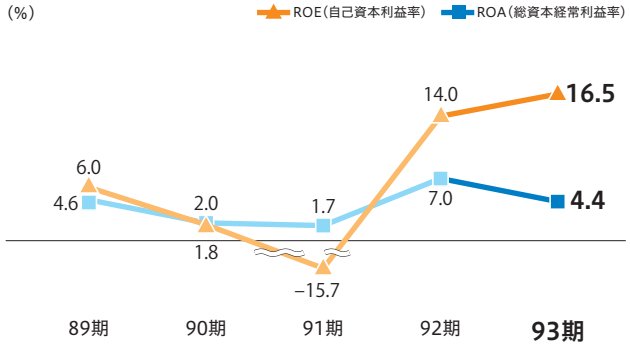
以上のように、無機化学事業、有機化学事業ともに、既存事業の収益力強化に取り組みますとともに、新規分野の中から次の柱を育て、外部環境に左右されない収益構造を構築し、「強くて信頼されるケミカルカンパニー」を創り上げてまいります。

親会社株主に帰属する当期純利益等の推移（連結）

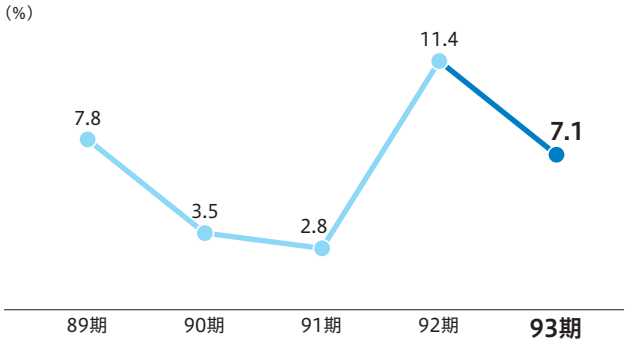


※92期以前は「当期純利益」

ROE・ROAの推移（連結）



売上高経常利益率の推移（連結）



※百万円未満を切り捨てて表示しています。

私たちは、より前に進み続ける化学企業体です

無機化学事業

酸化チタン

「白」の原料となる酸化チタンを先進の製造技術で提供しています

塗料、インキ、プラスチックなどに使われる酸化チタンは、超耐候性、高隠蔽性、高着色力などの特長を持ち、住宅・自動車・船舶・家電・衣類・紙・医薬品などさまざまな用途に使用されております。

営業品目

タイペーク（硫酸法A型・R型 塩素法R型）
タイペークイエロー（レモン・レディッシュ）

機能材料

酸化チタンの特性を活かし、多種多様の用途展開を進めています

透明性、紫外線遮蔽能、帯電防止、光触媒能などの機能を活かし、日焼け止め化粧品、帯電防止材料、脱硝触媒原料など様々な分野で使用され、その用途は大きな広がりを見せています。

営業品目

超微粒子酸化チタン、超微粒子酸化亜鉛、導電性材料、光触媒酸化チタン、高純度酸化チタン、高純度四塩化チタン、触媒用酸化チタン、針状酸化チタン、ガラスコーティング

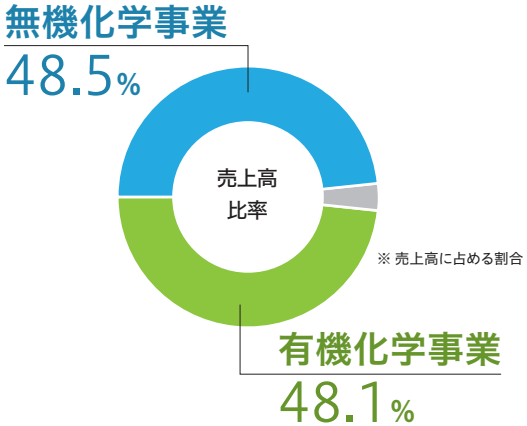
環境商品

土壌・水の汚染を低減するための材料の開発に取り組んでいます

酸化チタンの副生品として、当社超微粒化技術を駆使し、石膏および酸化鉄を高機能化した土壌改良材ならびに環境浄化材を提供しています。

営業品目

ジプサンダー、フィックスオール、MT-V3



電池材料

二次電池の性能向上につながる材料を開発しています

リチウムイオン電池用負極材料として、安全性、長寿命、急速充放電を特長とするチタン酸リチウムの本格市場参入を目指しています。

営業品目

エマナイト

有機化学事業

農薬

世界トップクラスの技術力を活かし、安全性と品質の高い農薬の開発・提供を行っています

世界の食料の安定供給を支えるために、安全性が高く環境への負荷が少ない薬剤の開発力を活かし、世界の様々な農産物の生産現場に最適の農薬を提供し続けます。

営業品目

除草剤、殺虫剤、殺線虫剤、殺菌剤、植物成長調整剤、生物農薬、展着剤

医薬など

有機合成技術を活用し、医薬品の開発に展開しています

農薬開発で蓄積した有機合成技術を活かし、医薬原末や有機中間体、医薬品研究を支援する試薬などの開発、製造、販売へとビジネス領域の拡大を進めております。

営業品目

医薬原末、HVJ-Eベクター、CF3-ピリジン誘導体

無機化学事業

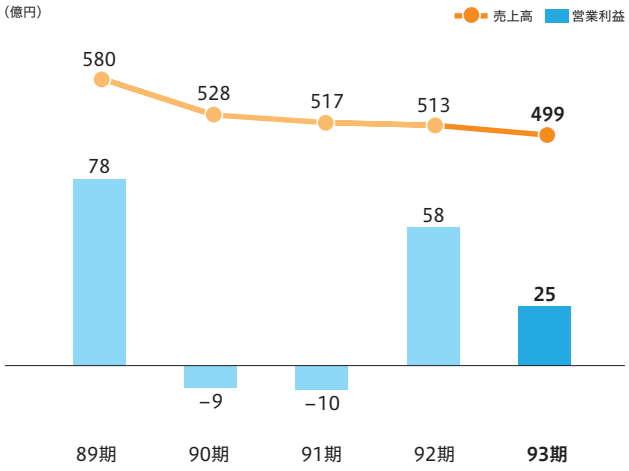
酸化チタン

- 売上高は382億円(前期比11億円減)
- 国内販売数量は前年度実績並み
- 海外向けは、中国市場の需要減に端を発した世界的な市況悪化により販売減

機能材料

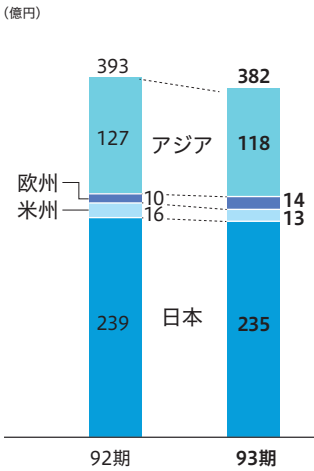
- 売上高は117億円(前期比2億円減)
- 電子部品向けは販売好調
- 前期販売を開始した新製品は、初期需要一巡で販売減

無機化学事業の売上高、営業利益

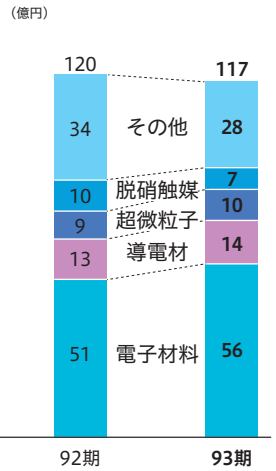


※ 億円未満を切り捨てて表示しています。

酸化チタンの地域別売上高



機能材料の分野別売上高



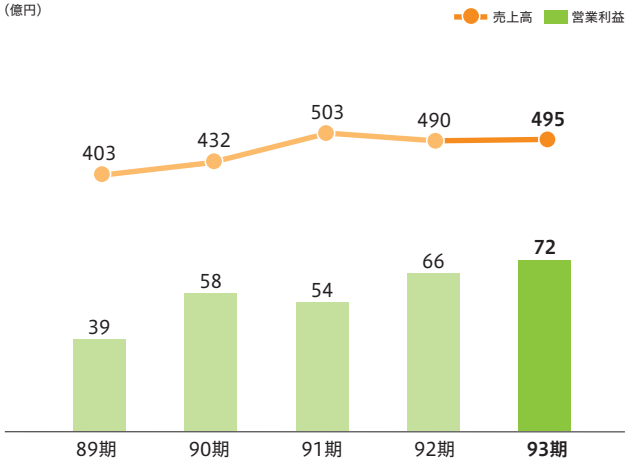
※ 億円未満を切り捨てて表示しています。

有機化学事業

農薬

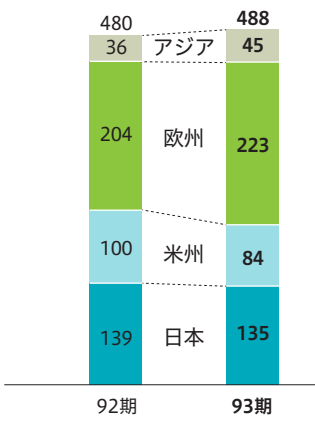
- 売上高は488億円(前期比8億円増)
- 国内向けは、天候不順の影響を受けながらも、売上高は前期並みを確保
- 欧州、北米、アジア向けでは、新たな混合剤の上市や既存剤の適用拡大などにより販売増
- ブラジル向けは、経済状況の悪化から需要低迷の影響を受け大幅な販売減

有機化学事業の売上高、営業利益

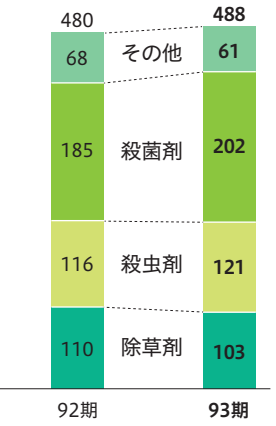


※ 億円未満を切り捨てて表示しています。

農薬の地域別売上高



農薬の用途別売上高



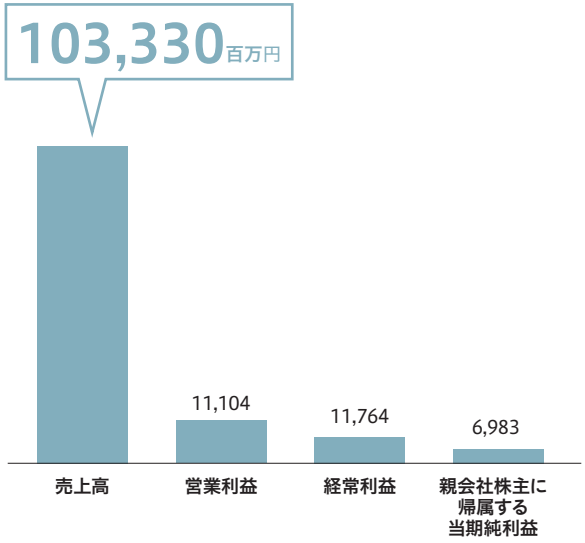
※ 億円未満を切り捨てて表示しています。

当社財務状況の概要

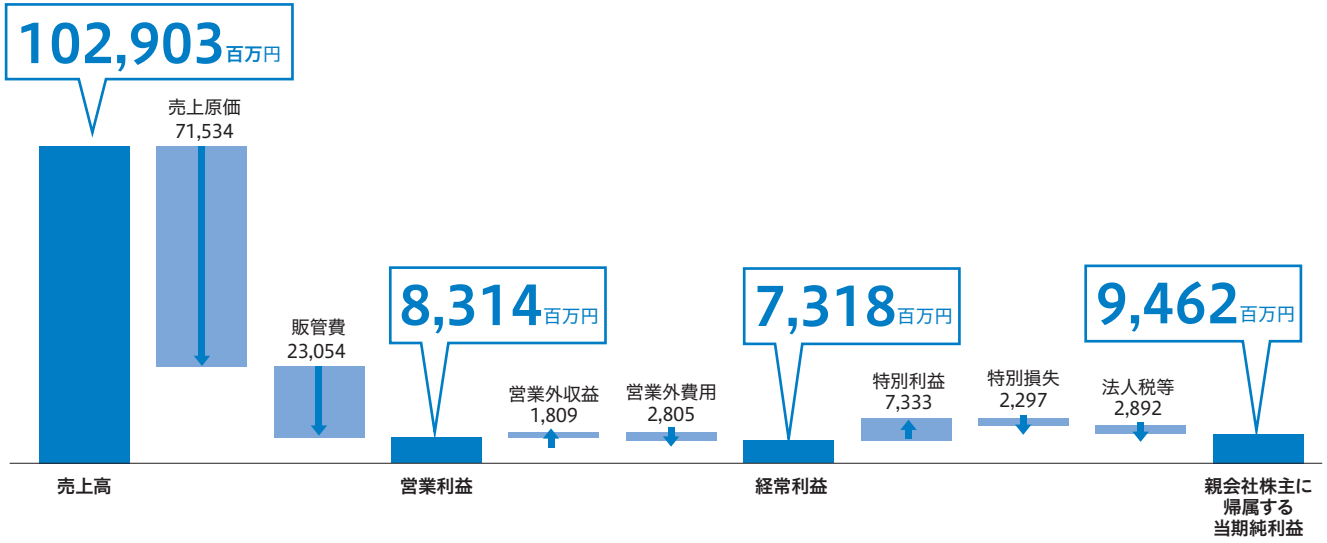
連結損益計算書

（単位：百万円）

92期　平成26年4月1日～平成27年3月31日



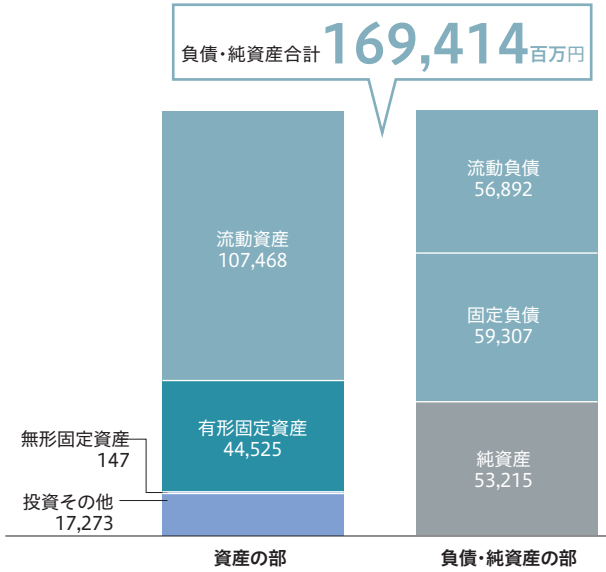
93期　平成27年4月1日～平成28年3月31日



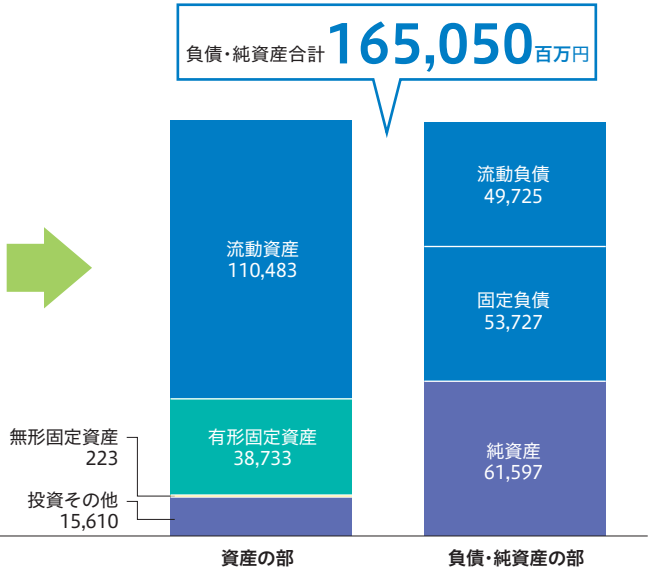
連結貸借対照表

（単位：百万円）

92期　平成27年3月31日



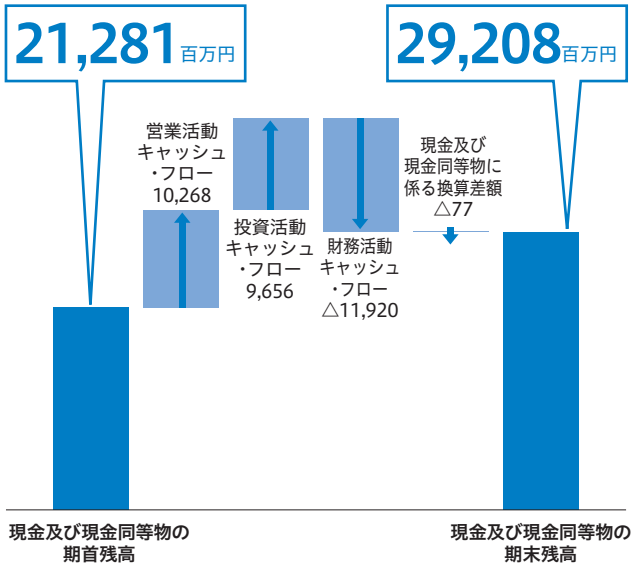
93期　平成28年3月31日



連結キャッシュ・フロー計算書

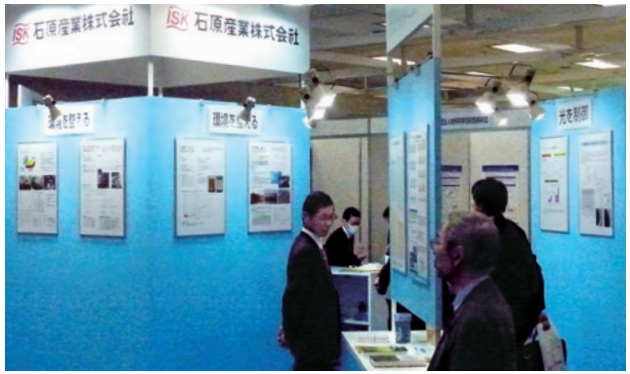
（単位：百万円）

93期　平成27年4月1日～平成28年3月31日



トピックス

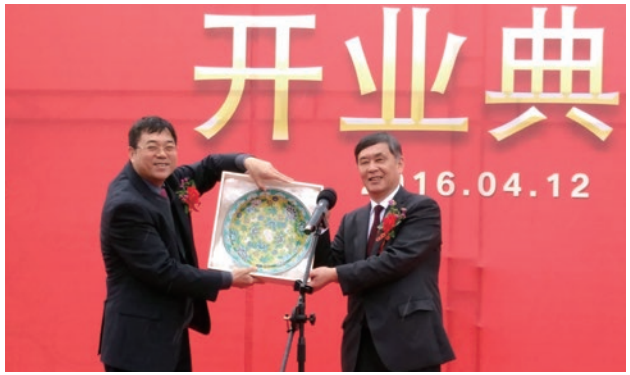
2016素材展in大阪に出展



当社は、平成28年3月15日(火)～16日(水)に、マイドームおおさかで開催された(株)化学工業日報社主催の「イノベーションを支える素材展in大阪」に出展いたしました。

関西を代表する化学・素材メーカー等70社以上が出展され、当社は、無機化学、有機化学の各事業分野より、いち押しの製品・技術・サービスを紹介するとともに、「社会を彩る快適空間創造材料」をテーマに技術講演も実施し、多くの来場者を迎え好評を得ました。

当社農薬の中国関連会社、開場・開業式典開催



当社の中国における農薬関連会社「浙江石原金牛化工有限公司」(ZITC)の子会社である「寧波石原金牛農業科技有限公司」(NITA)は、このたび農薬の製剤工場を新たに設立し、平成28年4月12日、開場・開業式典が開催されました。当社からは田中社長が式典に出席いたしました。

会社概要

会社概要

(平成28年3月31日現在)

商号	石原産業株式会社
英文商号	ISHIHARA SANGYO KAISHA, LTD.
本社	〒550-0002 大阪市西区江戸堀一丁目3番15号 TEL:06-6444-1451(総務部)
設立	昭和24年6月1日
資本金	43,420,548,178円
従業員数	1,106名
事業所	大阪本社、中央研究所、四日市工場、東京支店、中部支店、札幌営業所、仙台営業所、福岡営業所、アルゼンチン支店、シンガポール支店、上海駐在員事務所、北京駐在員事務所

主なグループ会社

(平成28年3月31日現在)

連結子会社(海外)

ベルギー
- ISK BIOSCIENCES EUROPE N.V.
  欧州農薬事業統括および農薬の製造・販売

台湾
- 台湾石原産業股份有限公司
  無機製品の販売

アメリカ
- ISK AMERICAS INCORPORATED <オハイオ>
  米国所在子会社の統括管理
- ISK BIOSCIENCES CORPORATION <オハイオ>
  米州における農薬の登録および市場開発
- ISK MAGNETICS,INC. <オハイオ>
  資産管理
- ISK BIOCIDES.INC <テネシー>
  木材防腐剤の製造および販売
- ISHIHARA CORPORATION (U.S.A) <カリフォルニア>
  主として無機製品の販売

連結子会社(国内)

- 石原バイオサイエンス株式会社
  農薬の販売
- 石原テクノ株式会社
  商社業(無機、有機およびその他)
- 富士チタン工業株式会社
  酸化チタン、電子材料等の製造および販売
- 石原エンジニアリングパートナーズ株式会社
  建設業
- 四日市エネルギーサービス株式会社
  産業用電力および蒸気の生産、供給、販売

役員

(平成28年6月29日現在)

代表取締役社長	田中　健一
取締役	寺川　佳成
取締役	新　道義
取締役	本多　千元
取締役	鈴木　良之
取締役	米村　紀幸(社外取締役)
取締役	寺西　大三郎(社外取締役)
常勤監査役	加藤　泰三
常勤監査役	秋國　仁孝(社外監査役)
監査役	播磨　政明(社外監査役)

ホームページのご案内

ホームページでは、IR情報等 株主のみなさまに有益な情報を多数発信しておりますのでご覧ください。

トップページ

IR情報

石原産業　検索

http://www.iskweb.co.jp/

株式情報

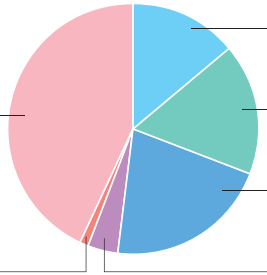
株式の状況

（平成28年3月31日現在）

発行可能株式総数	10億株
発行済株式の総数	403,839,431株
株　主　数	37,130名

株式所有者別分布状況

（平成28年3月31日現在）



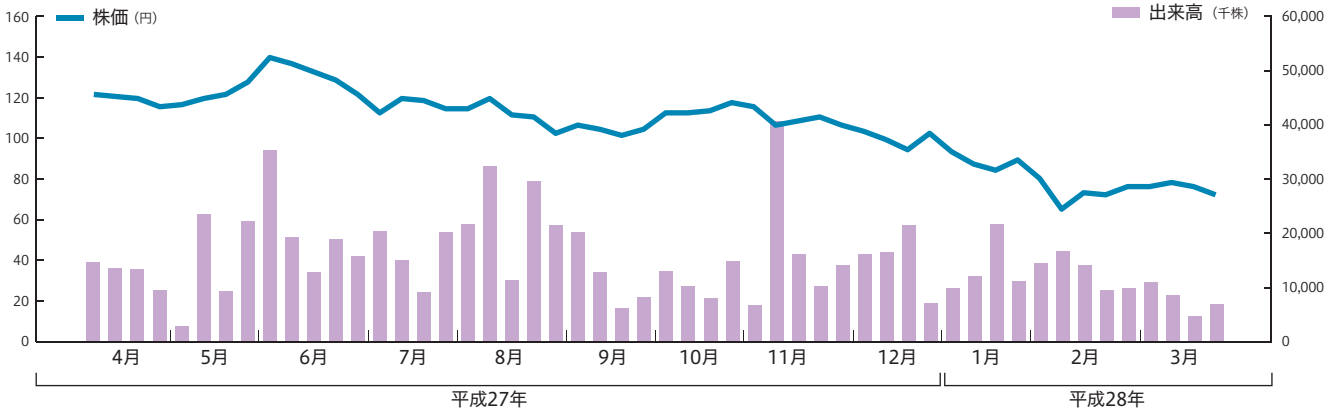
大株主

（平成28年3月31日現在）

株主名	株式数（千株）
三井物産株式会社	20,192
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES PARIS/ JASDEC/FBB SEC/BELCHIM MANAGEMENT	18,000
東亜合成株式会社	17,222
ユーピーエルジャパン株式会社	11,700
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	8,931
ISK交友会	8,159
石原産業従業員持株会	7,776
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	7,181
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	6,895
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	6,478

（注）株式数は株主名簿上の数で千株未満を切り捨てて記載しております。

株価と出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
単元株式数	1,000株
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 当社ホームページアドレス http://www.iskweb.co.jp/
株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
（電話照会先）	三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 電話　0120－782－031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

単元未満株式（1,000株未満の株式）について

当社の株式は1単元が1,000株となっています。株主様がご所有の単元未満株式（1,000株未満）につきましては、市場で売買できない、株主総会で議決権を行使できないなどの制約があります。もし、そのような単元未満株式をお持ちでしたら、買増制度、買取制度をご利用ください。

ISK 石原産業株式会社

〒550-0002　大阪市西区江戸堀一丁目3番15号
TEL：06-6444-1451　FAX:06-6445-7798
http://www.iskweb.co.jp/

UD FONT　ユニバーサルデザイン（UD）の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

VEGETABLE OIL INK　環境にやさしい植物性インキを使用しています。